

## 近畿学校保健学会通信

第 27

昭和50年3月31日  
第22回近畿学校保健学会事務局  
(〒640)和歌山市真砂町1の1  
和歌山大学教育学部  
保健体育学教室  
TEL (0734) 22-6101  
振替口座番号 大阪 314972

### 第22回近畿学校保健学会を迎えるに当って

第22回近畿学校保健学会

会長 武田 真太郎

オクラ前線が北上し、やがて新緑の目にしみる季節となります。近頃は、日々の食卓からは季節感が薄らいでしまいましたが、やはり、毎年着実に繰り返される自然の移り変りのなかで、春は何となく新しい仕事のできそうな活気に充ちた雰囲気を持っております。

昨夏の滋賀での第21回近畿学校保健学会の総会の席上、第22回の学会のお世話をお引き受けしてから、もうすでに半年が過ぎてしまいました。その間に、過去21回の学会で積み上げられた伝統の上に立って、参加される会員の方々に何か一つでも新鮮な印象が残り、あるいは、新しい研究の第一歩を踏み出していただけるような学会にしたいと念じて企画面で腐心いたしました。さいわい地元和歌山県の学校保健連合会はもちろんのこと、近畿各府県からお集まりいただいた学会幹事の諸先輩のお力添えのおかげで、ようやくこの学会通信で皆さまにご案内できるところまで準備が進んでまいりました。

学校保健の問題に直面したとき、学校保健独自の理論的根拠の少ないのに困惑することがしばしばあります。そこで、今回はシンポジウムのテーマに〈精神の健康〉を取り上げ、教育学、心理学、衛生学、医学のそれぞれの立場からの原点に戻っての論を展開していただくとともに、私どもが教育現場で抱えている多くの生々しい問題を投げかけることによって、私たち全員が参加した論議のなかから、それぞれの学問領域からの借り物ではない、学校保健独自の〈精神の健康〉に対する考えを育て上げていくことができると念じております。このために、学会当日の午後は思いきってシンポジウム一本にしぼって、十分な討論時間を確保しましたが、テーマがテーマであるだけに、まとまった結論が直ちに出ると思えません。しかし、この学会での論議が引き金となって、参加された皆さんの

それぞれの持ち場で、さらに論議の輪が広がって行くことが、やがて学校保健独自の理論的根拠を築くことにつながるであろうと期待しております。

和歌山といえば、近畿のなかでは不便な土地ではありますが、こうした意図で開催されます本年の学会に、学校保健関係者が一人でも多く参加されますよう心から願っております。

## 第21回近畿学校保健学会を終えて

滋賀大学教授

山 田 一

学校保健という複雑な現象を直接、研究の対象としてとりあげるということが、ここ数年来かなり広く行なわれてきている。

積極的な学校保健活動はすぐれた理論を必要とし、すぐれた理論の構築はすぐれた学校保健活動の一般化によって可能になると思います。

学校保健活動はいわゆる研究者と実践者が共同して研究にあたるということが必要としているが、学校保健の実践者自身が研究するのでなければ、学校保健理論は実践者のものとならないし、また研究者も実践者と共同して研究をすすめるときのみ真に科学的な学校保健の理論の成立を期待しうるのである。このことは、口では簡単にいえることであるが、現在のところ、私自身が共同研究の場に参加して、痛感することは、いかに困難なことか、ということである。困難な状況を克服するためには、研究者と実践者が、学校保健の現実をみつめ、そこから出発することによって相互理解を深め、すぐれた実践を創出し、一般化するということではないだろうか。

昨年の第21回近畿学校保健学会でもこの視点にたつて、滋賀県で開催させて頂きました。学期はじめなどで、時期的には問題もあり、御迷惑をおかけしましたが、多数の会員各位の御参加を御まじりて熱心に討議を賜り、また、数年来の懸案であった会則の変更も議決して戴きましたことを深く感謝しております。

本年の第22回近畿学校保健学会は和歌山医科大学の武田真太郎教授を学会長に得て、和歌山県で開催されることになっております。ぜひ、多数御参加賜りますよう、心からお願い申し上げる次第であります。

第22回近畿学校保健学会開催要項

1. 会 長 武 田 真太郎 (和歌山県立医科大学教授)
- 副会長 小 出 陽 造 (和歌山県学校保健連合会会長)
- 事務局長 笠 松 勇 次 (和歌山大学教授)
2. 事 務 局 和歌山大学教育学部保健体育学教室  
(〒640) 和歌山市真砂町1-1 TEL (0734) 22-6101
3. 開催期日 昭和50年7月10日(木)
4. 会 場 県民文化会館  
和歌山市小松原通1の1 TEL (0734) 36-1331  
(国鉄和歌山駅または南海電鉄和歌山市駅より南海バスにて「県庁前」)  
下車 県庁向側
5. 日 程 受 付 9:30~10:00  
(予 定) 一 般 口 演 10:00~12:20  
(評議員会 12:20~13:20)  
総 会 13:20~13:50  
シンポジウム 14:00~16:30  
「精神の健康をめぐって」
6. 一般演題募集 下記の要領で募集しますから、ふるって多数ご応募下さい。  
(1) 申込み方法：申込み用紙に所要事項を記入の上、学会事務局までお申込み下さい。  
(2) 〆 切期日：昭和50年5月10日(土)  
(3) 抄録について：お申込みいただいた方には折返し抄録用原稿用紙をお送りしますので  
オフセット原稿を作成して昭和50年6月10日(火)までに学会事務局までお送  
り下さい。  
なお、演題多数の場合は誌上発表とさせていただくことがありますので予めご了承  
願います。

以上

キ リ ト リ 線

一 般 演 題 申 込 み 用 紙

氏 名	
所 属	
連 絡 先	
演 題	
概 要 (100字程度)	

(連名で申込み場合は、口演者に○印をつけて下さい。)

第21回近畿学校保健学会決算報告書

収入の部	金額	支出の部	金額
1. 繰越金	4,830	1. 印刷費 (学会通信紙25、26号) (講演集 封筒 その他)	245,000
2. 会費		2. 謝金 (講師 アルバイト その他)	164,000
一般 @1,000円×157人	157,000	3. 会議費 (幹事会 評議会)	97,210
評議員 @1,500円×61人	91,500	4. 会場費 (使用料装飾)	46,300
学生 @500円×4人	2,000	5. 事務費 (通信 連絡 その他)	85,305
3. 寄附金	200,000	6. 雑費 (文具 名札 その他)	42,515
4. 補助金			
滋賀県教委	150,000		
大津市教委	75,000		
	680,330		680,330

以上の通り相違ありません。

第21回近畿学校保健学会

会長 山田 一